

## (2) 下水道事業会計

下水道事業会計予算の状況は、表7-2のとおりである。

表7-2

(単位：百万円、%)

| 区 分     |     | 平成29年度 |       | 平成28年度 |       | 増減額<br>(A)-(B) |
|---------|-----|--------|-------|--------|-------|----------------|
|         |     | (A)    | 増減率   | (B)    | 増減率   |                |
| 収益的収支   | 収 入 | 31,446 | 1.3   | 31,033 | 0.2   | 413            |
|         | 支 出 | 29,176 | △ 1.7 | 29,670 | △ 0.5 | △ 494          |
| 資本的収支   | 収 入 | 17,816 | 3.3   | 17,254 | 9.7   | 562            |
|         | 支 出 | 28,179 | 2.8   | 27,416 | 6.5   | 763            |
| 支 出 合 計 |     | 57,355 | 0.5   | 57,086 | 2.8   | 269            |

### ① 基本的な考え方

平成29年度は、安全・安心のまちづくりに向け、大規模地震発生時における下水道の機能を確保するため、下水道管渠及び処理場の耐震化を進めるほか、マンホールトイレの設置を進める。

また、局地的な大雨などによる浸水被害を軽減するため、雨水管渠などの整備を進めるほか、市民による防水板設置の費用の一部を引き続き助成する。

さらに、快適な暮らしの基盤づくりに向け、処理場及びポンプ場の機能を適正に維持するため、設備の更新改良を進めるとともに、道路陥没などの未然防止のため、管渠の更新改良を進めるほか、引き続き污水管渠の整備を進め、未普及地域の解消に努める。

このほか、南部浄化センターでの資源有効利用、コスト縮減及び温室効果ガスの削減のため、汚泥消化タンクの整備を進めるとともに、良好な水環境を整えるため、中央浄化センターにおいて、高度処理施設の整備を進める。

加えて、市民の利便性や収納率の向上を図るため、平成30年1月からの上下水道料金徴収一元化の実施に向け、千葉県水道局が開発するシステムについて、本市分の負担並びにデータ移行を行うとともに、請求や支払に関する変更点について事前に市民周知を行う。

なお、下水道事業の運営については、より一層の経費の節減と管理の効率化を図り、健全な下水道経営に努める。

② 業務の予定量

本年度は、汚水処理世帯数 422,643 世帯、総処理水量は 1 億 2,327 万 3,340 立方メートルを予定している。この結果、1 日平均処理水量は、33 万 7,735 立方メートルとなっている。

また、主要な建設改良事業については、管渠整備事業費 54 億 9,700 万円、ポンプ場整備事業費 7 億 1,800 万円、処理場整備事業費 47 億 8,200 万円となっている。

③ 収益的収入及び支出

収益的収入については、下水道使用料などの営業収益 235 億 8,100 万円、他会計補助金などの営業外収益等 78 億 6,500 万円、合計 314 億 4,600 万円で増減率 1.3% 増となっている。

収益的支出については、管渠費、ポンプ場費、処理場費などの営業費用 242 億 500 万円、企業債利息などの営業外費用等 49 億 7,100 万円、合計 291 億 7,600 万円で増減率 1.7% 減となっている。

④ 資本的収入及び支出

資本的収入については、企業債 130 億 8,900 万円、国庫補助金 39 億 7,400 万円、水洗便所普及事業収入等 7 億 5,300 万円、合計 178 億 1,600 万円で増減率 3.3% 増となっている。

資本的支出については、建設改良費 119 億 6,000 万円、施設利用負担金などの固定資産購入費 6,100 万円、企業債償還金等 161 億 5,800 万円、合計 281 億 7,900 万円で増減率 2.8% 増となっている。